



保育室便り 8月号



8月はダイナミックに水遊びを楽しんだ子ども達、ずいぶんと水にも慣れ、水の掛け合いを楽しむ子や、お魚釣りを楽しむ子など自分のペースを見つけ遊ぶ姿が見られ、大きな子たちは、和紙でにじみ絵を体験、水に浮かべると色が薄くなる変化を知り、又、濡れると紙がガラスに貼りつくことや乾くと剥がれることも子ども達にはマジックのようで「もう一枚、もう一枚」と貼っていました。トマトの収穫も数が減ってきたため台風に合わせて、最後の収穫を楽しみました。

水の中の生き物でも遊びを深めました。広告を切り、ラミネート加工を施すと魚たちが姿を現しました。魚釣りにとどまらず、子ども達は水の中で泳がせて、お部屋でお鍋に入れて料理までが遊びになっています。

家庭や様々な場所での観察を遊びの中に反映させている姿が見られました。

「まねる」ことは「学ぶ」につながる貴重な体験です。雨の日など外出できない日は、身近な物でお子さんと一緒に作って、遊ぶのもいいものです。



8月の絵本

「**てのひら おんどけい**」 浜口 哲一 文 杉田 比呂美 絵 福音館書店

夏の手のひら温度計は、熱い、ぬるい、冷たいを、お水で感じる事が出来る科学絵本です。

「**わにわに の お風呂**」 小風 さち 文 山口 マオ 絵 福音館書店

汗をかいた後はお風呂でさっぱり汗を流す「わにわに」のユニークな動きが楽しいお話です。

「**スイミー**」 レオ・レオニ 作絵 谷川俊太郎 訳 好学社

スイミーを見て海の中の素敵な色使いを参考に、夏のお魚の製作を心行くまで楽しみました。

9月の遊び

室内では・・・簡単なルールのあるゲーム、電車ごっこやボードゲームで遊びます。

ベランダでは・・・シャボン玉もずいぶん上手になり、大きく膨らます楽しみも経験します。

製作では・・・貼る、剥がす、切るなど指先を使った遊びを楽しみます。

粘土では形が変化する楽しさを感じたいと思います。

お散歩では・・・年齢に合わせて、交通ルールを意識して出かけます。

意識したい行事（秋の始まり）

お盆を過ぎると朝夕が涼しく感じられるようになります。まだまだ、日中は暑い日もありますが、台風一過の空には、入道雲は姿を消し、うろこ雲が広がり、秋の足音に耳を澄まして、ナシやブドウ、栗など、色彩と味覚に実りの豊かさを感じて、感謝の気持ちを育む季節は近づいています。季節の変化を知ることは、大切な学びとなり、人としての成長につながります。